Ver. 1.0（2022年2月7日）

**《産業応用フォーラムのコンテンツのオンデマンド配信サービス要綱》**

電気学会Ｄ部門

オンデマンド小委員会

**１．オンデマンド配信サービスの目的**

①会員サービスの向上による会員数の維持・向上

②技術委員会の活動の更なる活性化と収益向上

**２．基本ポリシー**

・ 産業応用フォーラム（以下，フォーラム）のオンデマンド配信サービスは，2022年度より正式運用を開始する。基本的な枠組みを定めてまずは開始し，徐々に制度，コンテンツを拡充する。

・ オンデマンド配信サービスの目的に対する効果測定を，会員拡大委員会と連携して継続的に行い，チェック，改善を図る。

**３．仕様**

3-1. フォーラム種別と個別仕様

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **#** | **フォーラム種別** | | **オンデマンド視聴の条件** | **テキスト著作権** |
| **1** | **技術報告完成後の プロモーション** | | ・フォーラムの受講  ・技術報告の購入 | 学会 |
| **2** | **それ 以外** | **継続開催** | ・フォーラムの受講（復習用のみ） | 講演者（配付許諾） |
| **3** | **不継続開催** | ・フォーラムの受講  ・フォーラム後の視聴申し込み | 講演者（配付許諾） |

3-2. 共通仕様

|  |  |
| --- | --- |
| **項 目** | **仕 様** |
| 対象者 | 原則として電気学会員（個人会員）に限る。 |
| オンデマンド実施有無 | フォーラム毎の選択制。ただし，フォーラム種別#1については，原則としてオンデマンド化を奨励する。選択は関連資料[1]にて申請。 |
| 運用主体 | フォーラム主催とオンデマンドコンテンツの制作；技術委員会  オンデマンド配信の設定，広報；編修広報委員会 |
| オンデマンド配信内容の著作権対応 | 関連資料[2]による。技術報告の内容については，転載許諾時にオンデマンド配信を行う可能性がある旨，併せて許諾を得るものとする。これに対応した引用転載許諾願のフォーマット[3]を準用する。 |
| 参加費 | 原則としてフォーラムと同額とするが，技術委員会の裁量で変更可能とする。 |
| 動画配信許諾 | 講演者にオンデマンドのコンテンツとしての利用を許諾頂く。 |
| 講師謝金 | フォーラム講演時の謝金のみ |
| webツール | Ｄ部門標準はZoom。その他のツールの使用も可能，ただし録画機能が必要。 |
| オンデマンド配信ツール | Boxを使用。フォーラム毎にフォルダを作成し，下位に「動画」のフォルダを作成して配信用動画ファイルを格納する。 |
| 配信期間 | 有期，２～３年を目処 |

**４．対応フロー**

※詳細についてはマニュアル参照のこと。[4]，[5]

以下，ハイブリッド開催の場合に対する追加分のみ記す。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | **実施項目（追加分のみ記載）** | **技術委員会** | **学会事務局** | **編修広報委員会** |
| **準備** | オンデマンド実施の選択 | [1]にて申請， 担当役員に提出 |  | オンデマンド配信用boxﾌｫﾙﾀﾞ作成 |
| 講師の許諾を得る | ○ |  |  |
| **開催** | オンラインツールの機能により講義を録画 | ○ |  |  |
| **開催後** | 録画したファイルを講義毎に分割※（原則Q&Aは含めず） | ○ |  | 動画ファイルを受領 |
| Boxに動画ファイルを格納し，アクセス権を設定 |  |  | アクセス権限；ビューア(DL不可) |
| 受講者への通知，追加募集 |  |  | 追加募集はフォーラム同等扱い |
| 新規受講者のアクセス権設定 |  | 申込者通知 (２週間隔) | ○ |
| 配信期間満了処理 |  |  | アクセス権解除 |

※使用ツールは任意だが，Windows10に標準で搭載されるビデオエディタで実施可能。

**５．備考**

・ オンラインコンテンツの著作権については，関連資料[2]が原則となる。ただし，問題が生じた場合には，技術委員会が部門役員会（オンデマンド小委員会）と共同で解決に当たるものとする。

**６．関連資料**

1. ニュースレター産業応用フォーラム報告掲載希望＋オンデマンド申請フォーム
2. Web開催研究会での映像コンテンツのガイドライン（既存資料）
3. 著作物の引用転載許諾願
4. 産業応用フォーラムマニュアル（オンデマンド対応）
5. 産業応用フォーラム 実行フロー（オンデマンド対応含む）

**７．補足情報**

7-1. オンデマンド配信サービスの趣旨

コロナ感染拡大の影響で，日々の生活スタイルが大きく変わってきている。部門における活動においても，2020年度の産業応用部門大会については，残念ながらCOVID-19感染拡大の懸念を踏まえ1年延期の判断となった。しかしながら，2021年度においては対面参加とオンライン参加を併用したハイブリッド開催によって多くの参加者を得ることができている。この結果は，困難な状況においてこそ，ライフスタイルが大きく変わるパラダイムシフトが必要となっていることを示唆していると言える。そうしたなかで，電気学会における情報発信の役割も大きいものと考えている。最新技術をはじめとした重要技術を，産業界や大学等の若手研究者へ絶え間なく発信することは学会としての責務であると考えられ，産業応用部門におおてはこの目的を達成するために産業応用フォーラムを中心としたオンデマンドコンテンツの配信について運用を中心とした検討を進めてきている．一方で，オンデマンド配信を成功裏に進めるためには魅力あるコンテンツが必要不可欠である。このため，技術委員会を中心とした関係者皆様のご協力を是非とも賜りたく，この趣旨をご理解いただき，魅力的な産業応用フォーラムの積極的な企画提案を期待している。また，魅力あるオンデマンドコンテンツ配信は会員サービスの向上や新たな会員獲得に向けた重要な位置づけになるとも考えている。（部門長 村上 俊之）

以上